1 iStorage NSの運用設定を行う

iStorage NS500Bx 系は、通常、クライアントのリモートデスクトップを使用して設定・管理を行いますが、初期設定時には、本体に、ディスプレイ、マウス、キーボードを接続していただくか、リモートＫＶＭ機能を使用していただく必要があります。

本章では、iStorage NS のお客様の環境への導入時と、導入後の運用時に管理者が行なう事項について、全体の流れを確認します。本章で全体の流れを把握し、ユーザーズガイド、および本ガイドの各章で詳細を参照しながら導入・運用を行なってください。

1.1 iStorage NS 導入準備

1.1.1 LAN 運用環境

LAN の運用について以下の情報をネットワーク管理者とご相談の上決定してください。

- ネットワークへの接続形態（ワークグループとして接続するか、既存のドメインに参加するか）
- IPアドレスの設定方式（ＤＨＣＰサーバーを使用するかどうか）
- コンピュータ名
- ワークグループ名
- 管理者のパスワード
- IPアドレスとマスク値（IPアドレスを直接指定する場合）
- デフォルトゲートウェイ（IPアドレスを直接指定する場合）
- DNSサーバーのIPアドレス（DNSサーバーを直接指定する場合）

1.1.2 初期設定を行う

iStorage NS500Bx 系 の初期設定は、本装置にディスプレイ、キーボード、マウスを接続するか、または リモート KVM を使用して行います。

前述の【1.1.1 LAN 運用環境】に記載した情報を基に、装置添付のスタートアップガイドを参照して初期設定を行ってください。

1.2 iStorage NS のリモート管理

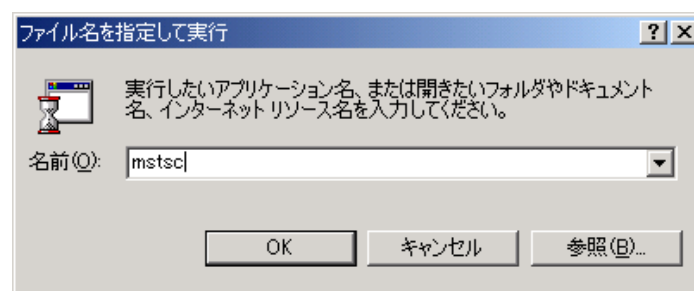
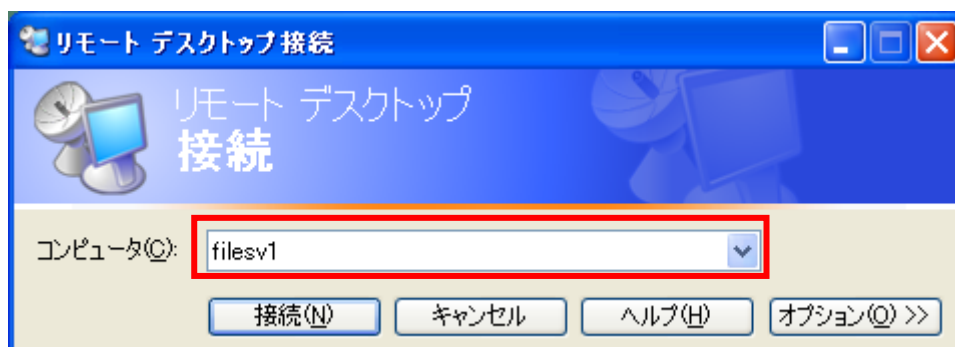
iStorage NS では、システム管理者がネットワークを経由してログオンし、ユーザー作成や共有などの設定を行うことができます。以下の接続方法により、iStorage NS にリモートログオンできます。

- リモートデスクトップによる接続
- Windows OS でブラウザ（RDP Web サイト）による接続
- Windows OS 以外でブラウザ（RDP Web サイト）による接続

それぞれの接続方法について説明します。

1.2.1 リモートデスクトップでの接続

システム管理者は、リモートデスクトップ接続を使用して、Windows ベースのコンピュータから iStorage NS を管理することができます。以下に、リモートデスクトップを使用する接続手順を記載します。

1. 管理 PC で [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] 欄に “mstsc” と入力して [OK] ボタンをクリックします。

2. [コンピュータ] に、接続する iStorage NS のコンピュータ名または IP アドレスを入力して [接続] ボタンをクリックします。

3. 管理者権限のあるアカウントのユーザー名とパスワードでログオンします。

4. ログオン後、[管理者メニュー] と [サーバーマネージャ] が起動します。

【注意】 リモートデスクトップで iStorage NS にログオンできるのは、管理者権限を持つユーザーのみです。また同時接続可能なのは 2 セッションまでです。

1.2.2 クライアント側の RDP Web サイト設定手順

システム管理者は、管理 PC からブラウザを使用して、iStorage NS をリモート管理することができます。クライアントの設定として、Windows による設定手順と UNIX による設定手順があります。

【注意】 Java Runtime Environment (JRE) が正しくインストールされていないと、"このページのすべてのメディアを表示するには追加のプラグインが必要です" というメッセージが表示される場合があります。Microsoft 以外のシステムへの JRE のインストールについては、Java Web サイトのインストール方法を参照してください。

1.2.3 Windows クライアントでの RDP Web サイト設定

ここでは、Windows クライアントでの RDP Web サイト設定について説明します。

Windows からブラウザを使用して、iStorage NS を実行しているサーバーをリモート管理する場合、Internet Explorer で ActiveX コンポーネントの使用を有効にする必要があります。

[Internet Explorer で ActiveX コンポーネントの使用を有効にするには]

1. Internet Explorer を開きます。
2. [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックします。
3. [セキュリティ] タブの [信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
4. [設定] で [スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行] までスクロールし、[有効にする] または [ダイアログを表示する] のいずれかをクリックします。
5. [OK] をクリックし、セキュリティポリシーの変更を保存します。

1.2.3.1 UNIX クライアントでの RDP Web サイト設定

ここでは、UNIX クライアントでの RDP Web サイト設定について説明します。

Windows Server リモート管理アプレットを使用すると、Microsoft 以外のコンピュータから iStorage NS をリモート管理できます。このアプレットは、クライアント コンピュータ上のブラウザで実行されます。次のブラウザに対応しています。

- Firefox バージョン 1.0.6 (以降)
- Mozilla バージョン 1.7.11 (以降)

Windows Server リモート管理アプレットは、Java 2 Runtime Environment バージョン 1.4.2 を実行しているクライアントでサポートされます。クライアントのコンピュータでは、次のオペレーティング システムが実行されている必要があります。

- Red Hat Enterprise Linux 3 WS
- Red Hat Enterprise Linux 4 WS
- SuSE Linux Enterprise Server 9
- SuSE Linux Enterprise Server 10

ブラウザを使用して接続を確立できます。Windows Server リモート管理アプレットでは、サウンドのリダイレクト、プリンタやポートのリダイレクト、およびアプリケーションの自動的な起動はサポートされていません。

1.2.4 iStorage NS へのブラウザ ベースの接続

ここでは、iStorage NS へのブラウザ ベースの接続について説明します。

1. 管理 PC でブラウザを開きます。

2. iStorage NS のネットワーク名またはネットワーク IP アドレスを入力し、末尾に “/desktop” をつけます。 (例えば、http://myStorageServer/desktop)

3. [リモート管理デスクトップ] で、システム管理者アカウント情報を入力します。

1.3　管理者メニュー

iStorage NS500Bx 系では、設定や運用時に管理者メニューを使用します。

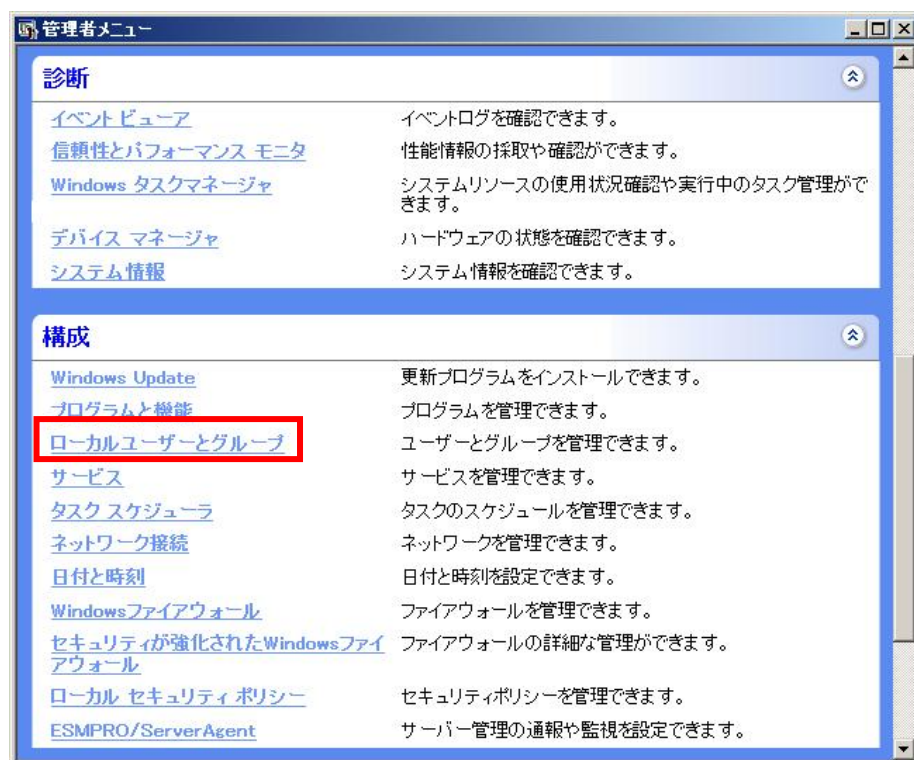
1.3.1　管理者メニューの起動

管理者メニューは、リモートデスクトップ等で iStorage NS にログオンすると自動起動します。また、ディスプレイ、キーボード、マウスを接続してログオンしても同様です。自動起動しなかった場合や画面を閉じた後に再度起動させる場合は、デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。

1.4 ユーザー/グループ管理

iStorage NS をワークグループでご使用の場合、以下の手順でローカルユーザーとグループを設定してください。iStorage NS をドメインに参加させ、メンバサーバーとして使用する場合は、ローカルユーザーやグループを設定する必要はありません。

1.4.1 ローカルユーザーの作成

1. 管理者メニューの [ローカルユーザーとグループ] をクリックします。

2. [ユーザー] を右クリックし、[新しいユーザー] をクリックします。

3. ユーザー名等を指定し、[作成] ボタンをクリックします。

その後、作成したユーザーのプロパティを開き、所属するグループ等必要に応じて設定してください。

【注意】ワークグループ環境の場合、デフォルトでは、ユーザーのパスワードは設定後 42 日で期限切れとなり、iStorage NS にアクセスできなくなります。administrator も同様です。お客様の環境に合わせてセキュリティポリシーを設定したり、パスワードを更新してください。

【注意】パスワードを設定する場合、デフォルトでは、6 文字以上で、以下の要件のうち３つを満たす必要があります。

- 英大文字(A ～ Z)
- 英小文字(a ～ z)
- 10 進数の数字(0 ～ 9)
- 記号(!、$、#、% など)

クライアントからユーザーパスワードを変更するには、以下の手順で行います。

1. クライアント PC で、[Ctrl+Alt+Del] を押下します。

2. [パスワードの変更] ボタンをクリックします。

3. 変更内容を下記の表を基に入力して [OK] ボタンをクリックします。

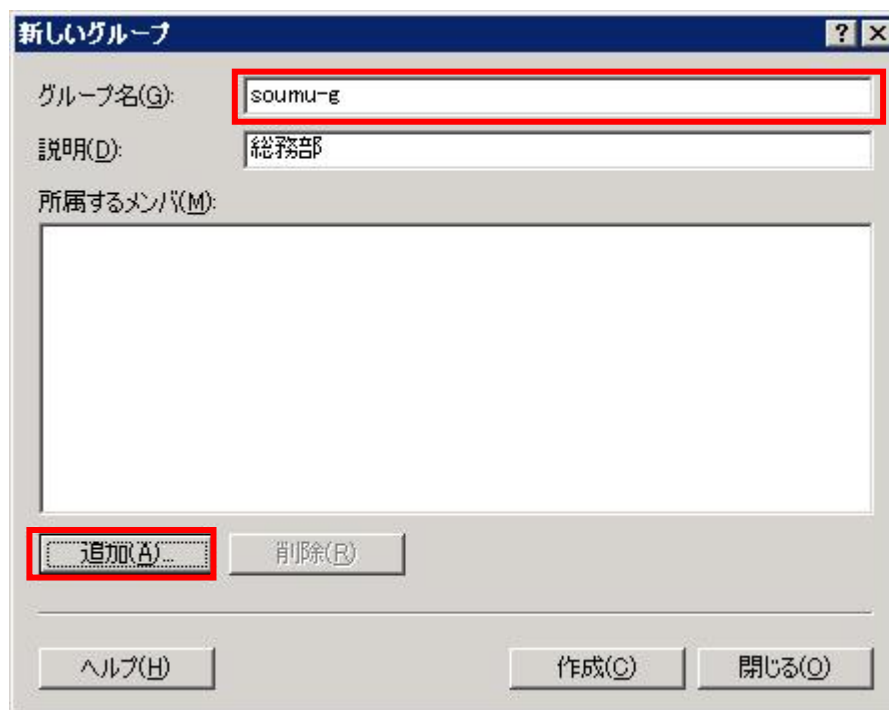
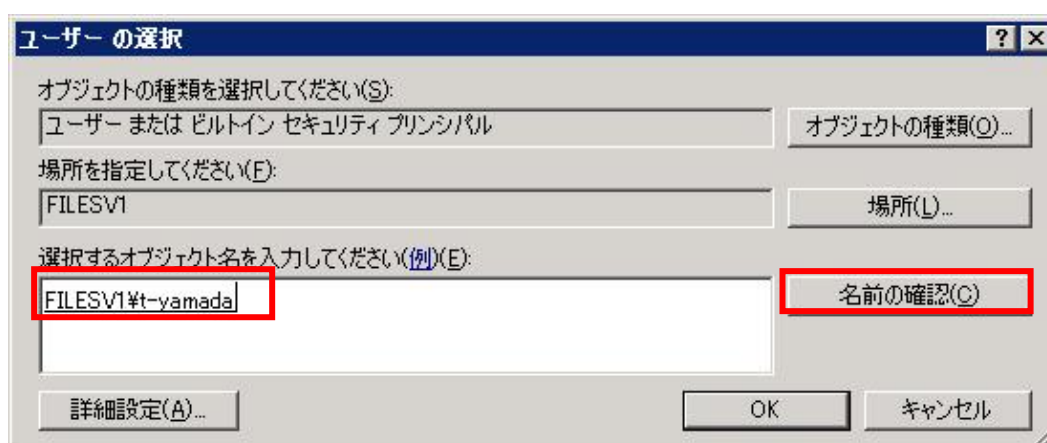
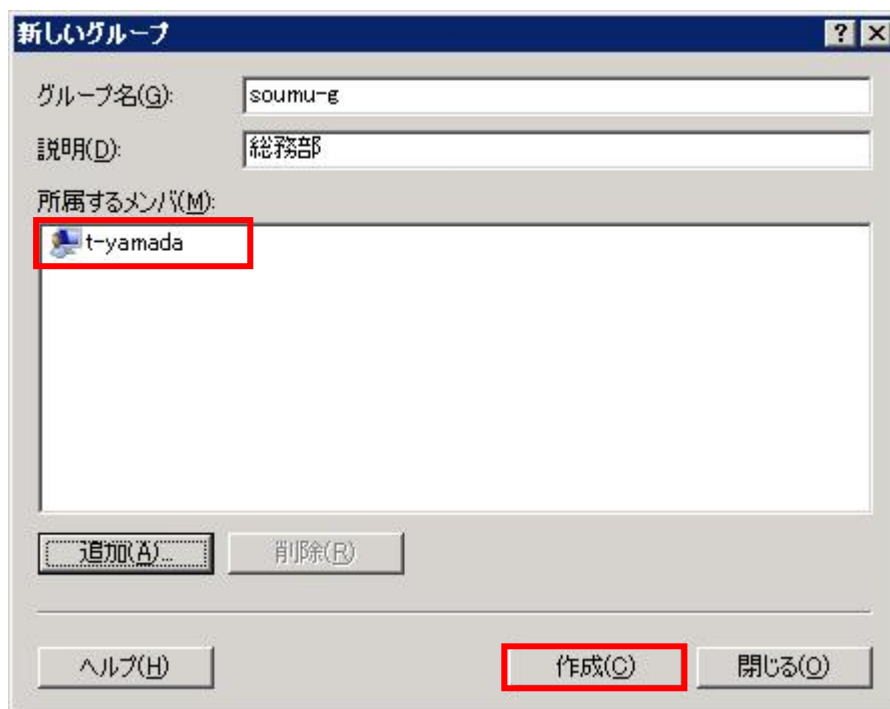
項目名	入力内容
ユーザー名	パスワードを変更するユーザー名
ログオン先	iStorage NS のコンピュータ名※
古いパスワード	変更前のパスワード
新しいパスワード	新たに設定するパスワード
新しいパスワード（確認入力）	新たに設定するパスワードの再入力

※コンピュータ名はキーボードより入力してください。

1.4.2 ローカルグループの作成

1. 管理者メニューの [ローカルユーザーとグループ] をクリックします。

2. [グループ] を右クリックし、[新しいグループ] をクリックします。

3. グループ名、説明を入力し、[追加] ボタンをクリックします。

4. [ユーザー の選択] 画面が表示されるので、[選択するオブジェクト名を入力してください] の欄に追加するユーザーを入力して [名前の確認] をクリックします。
   確認されたら [OK] ボタンをクリックします。

5. [所属するメンバ] に追加したユーザーが表示されていることを確認して [作成] ボタンをクリックします。

6. [閉じる] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

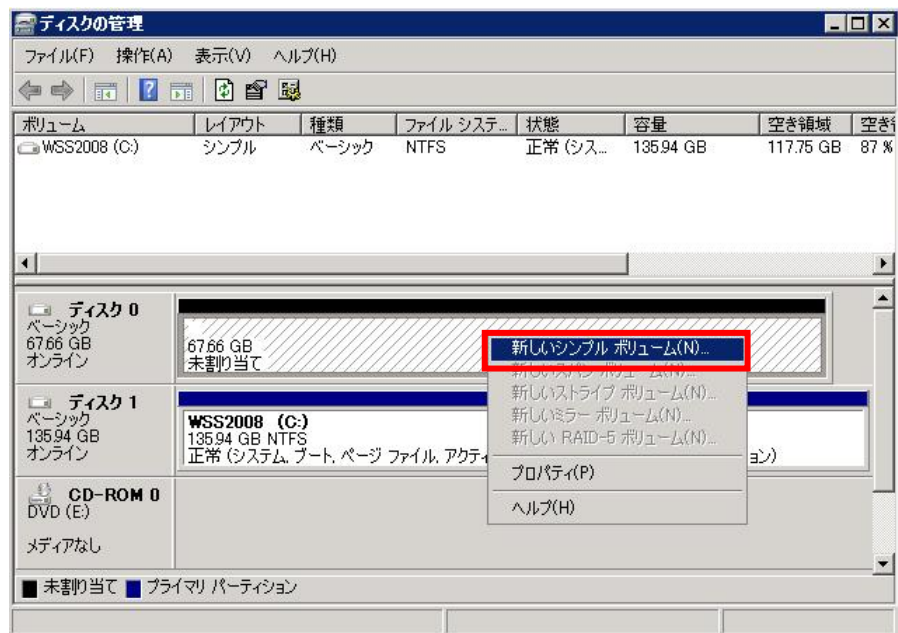
その後、作成したグループのプロパティを開き、必要に応じて設定してください。

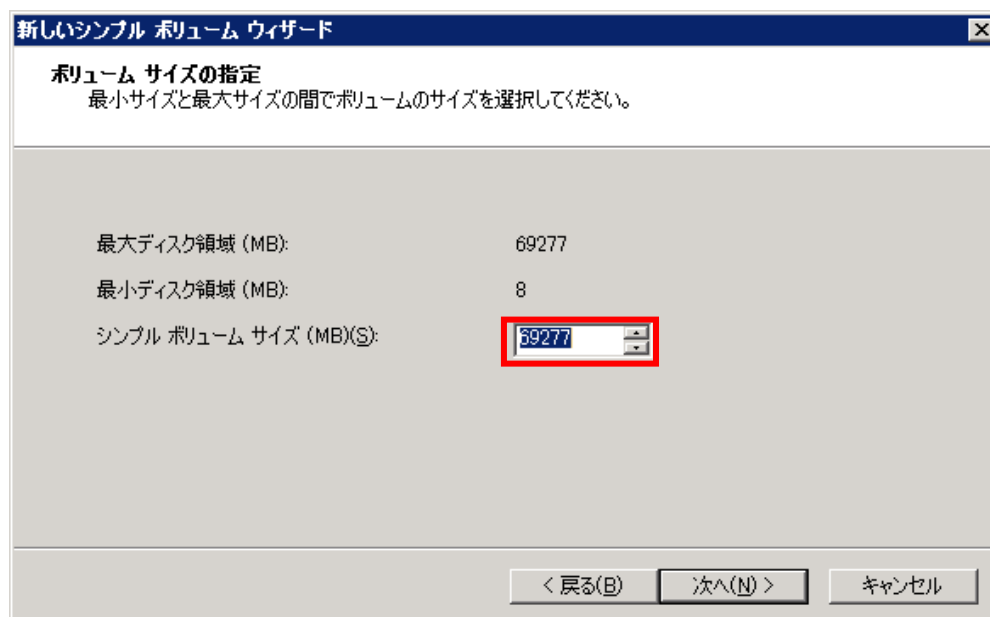
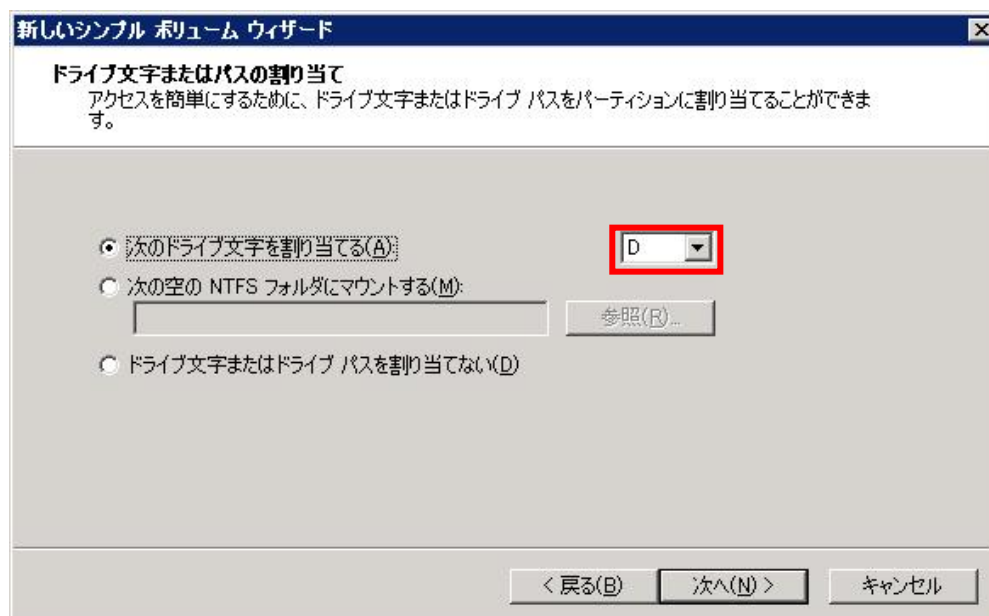
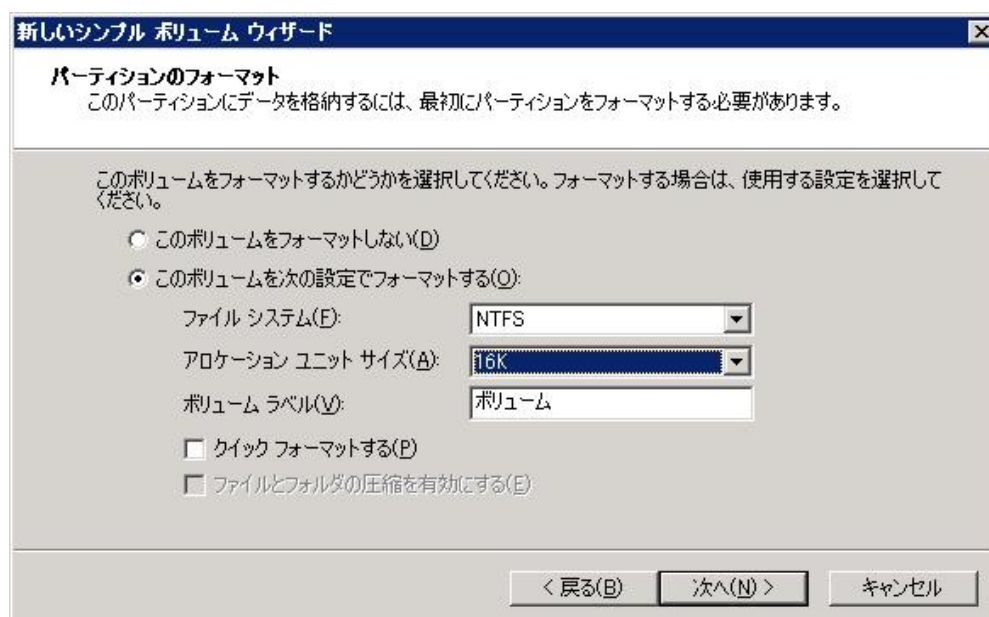
1.5　ディスクの管理

ディスクの管理では、パーティションとボリュームの作成、それらのフォーマット、ドライブ文字の割り当てなど、ディスクに関連した基本的なタスクを実行できるだけでなく、フォールトトレラントなボリュームの作成と修復など、高度な作業も実行できます。ここでは、ボリュームの作成方法を説明しますが、その他の機能の操作方法はオンラインヘルプをご参照ください。

1.5.1　ボリュームの作成

1.　管理者メニューの [ディスクの管理] をクリックします。

2. 末割り当て領域を右クリックし、[新しいシンプルボリューム] をクリックします。

3. ウィザードが起動したら、[次へ] ボタンをクリックします。

4. 作成するボリュームのサイズを指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

5. ドライブ文字を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

6. フォーマットの有無を指定して [次へ] ボタンをクリックします。作成するボリュームでシャドウコピーを設定し、デフラグを実行する場合は、[アロケーションユニットサイズ] を 16K以上に設定し、[次へ] ボタンをクリックします。

7. 設定内容が正しいことを確認し、[完了] ボタンをクリックします。